

# JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名	長谷川 雄助	会員番号:	6103	事務局整理記入欄	北海道 - 241
分水嶺区分:	H022ペンケ山	(3) 山行日:	2006年	4月	15・16日	(4) 天候	15日:薄曇り、積雪3m 16日:曇りのち吹雪

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

長谷川雄助	6103	吉野勝夫	13044				
朝日 守	12160	田島祥光	13058				
助田陽一	12995	樋口みな子	13442				
助田梨枝子	12996	鶴岡節子	13982				
計				8名			
計				名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略: 中川町採石場～ペンケナイ沢林道～分水嶺峠～477m肩～ペンケ山～536m(折り返)													
アプローチ: 札幌市(旭川市、帯広市、美幌町)～中川町～採石場(徒歩)～377m分水嶺峠～434m～477m肩													
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	林道鎖場	天塩中川	142	6	54.60	44	49	18.67	59		8:12		
分水嶺峠(林道)		ペンケ山	142	9	42.61	44	50	12.15	370	11:33	11:38	B - 4	
	テント設営地点	"	142	10	3.28	44	49	54.78	332	12:00	12:37	B - 4	
分水嶺到達点	404m地点	"	142	9	56.80	44	49	23.90	404	13:00	13:05	B - 4	
H022	ペンケ山	"	142	9	33.50	44	48	47.10	718	14:15	14:25	B - 4	
分水嶺離別点	541m地点	"	142	9	34.70	44	48	24.10	541	15:00	15:15	B - 4	
テント設営点		"	142	10	3.28	44	49	54.78	332	16:45	8:35	B-4	幕営地
分水嶺峠(林道)		ペンケ山	142	9	42.61	44	50	12.15	370	9:58	10:00	B-4	
歩行終了点		天塩中川	142	6	54.60	44	49	18.67		11:20			
総歩行時間(休憩時間を除く):											8時間40分		

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H022	ペンケ山				積雪のため発見できず

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

ペンケナイ川に沿って林道が設置され、ペンケ山とペンケ山の稜線に出る。分水嶺峠には東西に伸びる北電の送電線の鉄塔がある。(林道は、「中川線 23」と表示されている。)

(9) 水および植生に関連した特記事項

稜線上では、ダケカンバ、カツラ、アカエゾマツの疎林で、ペンケ山は東斜面は笹に覆われ、西斜面はハイマツが密生している。

(10) その他の特記事項

2005年4月29日から5月1日にかけて、ペンケ山からペンケ山を経て天北峠の踏査を行った際(山行報告書 北海道 - 176～178)、ペンケ山の東斜面の全面で雪崩が発生しており、ペンケ山の北コルから南コルまでの間の裾を迂回して踏査を続けた。今回は、北コルの分水嶺からペンケ山頂上を経て南コルまで踏査し、分水嶺を繋いだ。知駒峠から天北峠までの間、概ね平坦な地形であるが、ペンケ山、ペンケ山とも約2kmの稜線が屹立し、しかも痩せ尾根であり、ペンケ山には夏道がない。

(11) 写真の添付:( 有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: